



四賀ガルテナーの楽しみ ガルテンで何してん!?

坊主山クリーンガルテン 33歳の娘
笠島 繼男さん

「テラスでコーヒーを飲みながら本を読むのがお気に入り」という笠島継男さん（63）はガルテナーになって2年目です。2011年4月に通い始め、野菜作りはむちゅん

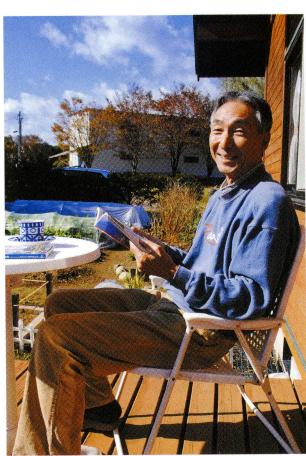
秋は干し柿作りに挑戦しました。初めての冬は、大町市の鹿島槍で10年ぶりにスキーを再開し、夏には収穫したトマトでジャムを作るなど、気の向くままに過ぎず日々を

「本物に樂しい」と、満面の笑みを浮かべます。山登りが好きで、日本百名山では男体山、霧島山を残すのみといふ笠島さん。「百名山全頂制覇は樂しみに残し、今は県内の里山歩きをしています。ガイドブックで情報を仕入れておき、天気が良い日は、急に思い立つて出かけることもあります。日の出から13時間歩いた日もあります」と、楽しそうに話します。

「トマトを拠点にやれる」とがたくさんあります。それを見つけたのも面白じです。リンゴ農家のお手伝いもそのひとつ。リンゴの実に陽が当たるように葉を摘んだり向きを変えたりする作業をしました。地元の人と話したり採れたてのリンゴを味わったりして、とても楽しかった」と振り返ります。

「3年ほど前から、退職後はやつたことのないものに挑戦したいと考えて、野菜作りに挑戦できて、山にも登れるここでの生活を選びました」と笠島さん。昨年9月に退職し、冬期以外は月の半分をここで過ごしています。「横浜で暮らす家族の理解のおかげですが、滞在10日目になると妻

の顔が見たくなります」とほほ笑みます。



「トマトは水道水もとてもおいしいんですね」と、自宅に帰る時は2リットルのペットボトル6本の水をリパリした新鮮な野菜は最高ですが、「トマトは水道水もとてもおいしいんですね」と、自宅に帰る時は2リットルのペットボトル6本の水を忘れません。冷やして飲んだり、コーヒーを淹れたり、妻の淳子さんが料理に使ったりもあるのです。

淳子さんが坊主山に滞在するのは1週間くりこすの年4回ほど。「横浜からは遠くても、ここからなら手軽に行かれる観光地がたくさんありますから、ここを拠点に妻と旅行に出かけたいです」と笠島さん。2年目の秋も家族が心待ちにする干し柿を作りました。これからも、ガルテナーとしての楽しみは無限に広がるのです。